

夢かなってク 通信

～ かなテク西部に入校し、自分の夢をかなえた方のメッセージです ～

「社会に恩返しできる職」に再就職する第一歩

ビルメンテナンスコース M・Kさん (59歳 男性)

約40年お勤めになった会社の退職を余儀なくされましたが、これを機に「社会に恩返しできる職」に再就職して、出来るだけ長く働きたいという夢をかなえました。

私はこれまで約40年間ソフトウェア開発の仕事に従事してきました。職場は都心にある顧客先での作業が多く、通勤には片道約2時間を要していました。定年までは働き続けたいと考えていましたが、より遠くの職場への異動により退職せざるを得なくなりました。

定年間近での退職であったため現役時代にやろうと思っていたことを楽しみながら過ごしていこうと思っていましたが、3ヶ月も過ぎるとそのスピードが鈍り、達成感も希薄になり停滞していききました。

さらに年金のことや老後への蓄えを考えると働ける間は働きたい

と強く思うようになりました。

そこで、次の職業を考える上でのキーワードは、「社会への恩返し」です。ちょっと恰好良過ぎる表現ですが、多くの人に喜んでいただける職に就くことが、より生きがいを持って取り組めると考えました。

再就職にあたっては、技術や技能を身に付けられる職業訓練を受けることで、年齢や未経験のハンディを克服できると思い、西部総合職業技術校に入校することを考えました。

そこで、オフィスビルや病院、商業施設等を利用する方が快適に過ごせるように空調機や給排水設備の保守・メンテナンスの仕方を学び、社会貢献度が大きく省エネルギーにも貢献でき、大切な自然環境を次の世代に引き継ぐことができるビルメンテナンスコースを選びました。

実際に、ビル設備管理とはどのような仕事なのかを体験すべく西部総合職業技術校で実施している体験入校にも参加しました。

内容は、室内温度や Co2 濃度などが環境基準に適合しているかを測定し報告書を作成する訓練で、前職の経験や機械いじりが好きな自分には打って付けのコースでした。

ビルメンテナンスコースは離転職者を対象としており、年齢制限が無く、訓練費用も掛からないことも大きな魅力でした。

コースは6ヶ月、訓練生20名です。20歳代から60歳代までさまざま、経歴も多彩な人たちです。最初は距離感をもって接していましたが、1週間も経て、みんな同じ目的を持った仲間のためか、距離もすぐに縮まりました。

訓練内容は、想定以上に楽しく、実習の時間が多く取られていることもあり、工具を使い、手を動かし、また機器を操作しながら身に付けていきます。

なりたい自分になるための必要な訓練なので、楽しくあっという間に一日、一週間、一月が過ぎていきました。

訓練の特徴は、2回3回と繰り返して訓練するスタイルで、繰り返すうちに自然と理解度が上がって身に付いてきます。そのことが嬉しく、また次の課題への学習意欲が湧いてきます。

講義内容を理解するには、若い人と同じ学習量では追い付きません。帰宅後の復習は欠かせません。今日習った内容を再確認し、理解度を上げていくことが必要でした。

大変でしたが、目標をもって訓練に取り組む嬉しさを感じ、さらに二級ボイラ技士や危険物取扱者乙種4類の資格を取得できた時の喜びと自信は代え難いものでした。

実際のビル設備を見学に行く施設見学では、講義で習った機器を実際に見て、熱を感じ、音を聞き、臭いを嗅ぎその大きさを体験することができました。

また、そこで働く人と触れ合うことで、ビル設備の理解と現場の雰囲気を知ることができ貴重な経験となり、より強くビル設備管理の職に就きたいと思うようになりました。

今、電気工事や空調・給排水設備のメンテナンス、ビルクリーニング技能等のいずれも基礎レベルのものでしたが、西部総合職業技術校ビルメンテナンスコースでの学びは、就職に当たっての自信につ

なりました。

そして、自信を持つことで訓練校の紹介で大学病院の設備管理の職の内定をいただくことができました。就職後は、技能や知識を現場での実践でよりグレードアップさせていきたいと考えています。

自分の夢であった社会に貢献できる仕事を、長く続けていくために、無理をせずに自分のペースで取り組み70歳まで働きたいと思っています。

最後に、楽しく有意義な時間を提供して下さった、技術校の皆さま、若さとやる気を与えてくれたクラスメイト、そして、支えてくれ応援してくれた妻や子供に感謝したいと思います。